平成30年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 27 ID 102012

【施設状況】											
グループ名称	_	一体型共同生活介護施設(三津和園)									
指定管理者名	社会福祉法人信濃の星								法人番号	8100	0005002197
所管課	主	102000	障害福祉課	副			,				
	1417	一体型共	- 同生活介護施設「三津和園」								
構成施設											
施設分類	05	保健福祉	•医療型	施設利	用者圏域	01	地域	施設	利用制適用区分	02	利用料金制
施設概要	1	管理人室 1、	事務室(相談室) 1 、厨房	1、食堂	1、居室	8、浴	室 1、	洗濯坛	易 1		
施設設置目的	障害者に対し、共同して自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、必要な介護、相談等の日常生活上の支援を 行うとともに、短期間の入所に係る介護等の支援を行い、もって障害者の福祉の増進を図る。										
基本方針等	針等 質の高いサービスを利用者に提供するとともに、利用者の相談や日常生活上の援助及び介護を行いながら、社会人として自立た社会生活を営むことができるよう支援する。								社会人として自立し		
主な実施事業		共同生活援 短期入所	 助			_					

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが 特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

	_ 「 指定官理者の健主性										
	指定管理者名 社会福祉法人信濃の星 指定回数 3								3	回	
	指定期間 平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日 5年 管理運営開始日 平成21年10月							21年10月	1日		
	指 定 施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 管 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。							評価			
ź	理者				-121748						0
1	の健全性	(問題等が	記事項 があった場合に、 容等を記入)								3

2 施設の有効活用 No. 27

	2												
		利用区分等	単位	H27	Н	28	H29	H30	対前年比	評価			
		共同生活援助	人/月	7		6	6	7	117%				
		短期入所(延べ利用日数)	日	227		38	220	40	18%				
t/c ≕	投利用状況	短期入所(利用者実数)	人	1		3	2	1	50%				
(利	用者数、件								#DIV/0!				
数、	稼働率など)								#DIV/0!				
	۲)								#DIV/0!				
									#DIV/0!				
		(特記事項) ・ 共同生活援助 定員7人 ・ 短期入所 定員1人 (平成30年度から短期入所の支給上限日数が15日となった)											
	区分	協定内容・指	定管理者提	案		追加	口事業、未実施事	業及び未実施の理由					
事業実施	市指定事業	利用の申出に対する承認施設の維持管理共同生活援助事業(入浴、排泄短期入所	t、洗濯、掃M						3				
内容	自主事業	・レクリエーション、教養娯楽行事等の実施(収穫祭、日帰り旅行、 お花見等)											
サービス維持・ 向上の取組み (広報等) ・信州新町フェア(長野市信州新町支所において秋季開催)等に参加して施設をPRした ・利用者の通院等の際には送迎サービスを実施した													

3 利用者評価

	区分		内容	評価					
		(1) 利用者要望把握方法	聞き取り						
	利用者要類	(2) 調査、会議等の内容 ・ 常時、利用者本人や利用者の家族、後見人等からの相談を受け付けている ・ 定期的に個別面談を実施 ・ 利用者の体調等の変化については、家族等へ電話により直接連絡 者 要 望 (3) 調査、会議等の結果							
	型 把 把	(3) 調査、会議等の結果							
	握	・ 面談等でニーズを把握し、個別支援計画に励る。	反映し、職員間及び関連施設間において、個別支援プランの情報共有を図ってい						
			きるだけ反映させるが、これまでのところ、当施設単独の実施より、他事業所の						
利用		(1) 良好とする評価							
者評価			要からの要望により、平常時同様に受け入れを行っている。 当していることから、利用者本人及び家族から「今後もできるだけ長くここで生	4					
	要望・苦情等利用者からの評価	(2) 苦情・改善等の要望事項 ・ 苦情・クレーム等は特にない							
	.	≪対応措置≫							

No. 27

1	車券四十
4	事業収支

4 争未収又										110.	
		指	旨定管理者収支(平成30年度)				市の収	支		評価
	$\sqrt{}$	年度	E計画額	収3	と実績額 しゅうしゅう		平成3	0年度決算	平成29年度	決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額	項目	金額	
		利用料金	3, 370, 000	利用料金	3, 368, 024		使用料		使用料		
		指定管理料		指定管理料			雑(納付金)		雑(納付金)		
		委託料		委託料			行政財産 目的外使用料		行政財産 目的外使用料		
	収入	販売収入等		販売収入等		歳入	貸付料		貸付料		
	10 / 1	その他収入	6, 000	その他収入	18	成八	その他		その他		
		自立支援給付	12, 068, 000	自立支援給付	12, 267, 630		国県支出金	9, 117, 948	国県支出金	7, 547, 481	
		計	15, 444, 000	計	15, 635, 672		計	9, 117, 948	計	7, 547, 481	
		人件費	9, 850, 000	人件費	9, 862, 756		指定管理料		指定管理料		
		設備管理費	115, 000	設備管理費	100, 021		委託料	232, 470	委託料		
		備品購入費		備品購入費			需用費		需用費		
事業収支		修繕費		修繕費			役務費		役務費		
争未収又 (単位:円)		光熱水費	1, 500, 000	光熱水費	1, 385, 749		使用料・賃借料		使用料・賃借料		3
		事業費	1, 980, 000	事業費	1, 791, 562		修繕費		修繕費		J
	支出	事務経費	602, 000	事務経費	543, 837	歳出	工事請負費	901, 800	工事請負費	689, 040	
		本社経費	815, 000	本社経費	814, 172		備品購入費		備品購入費		
		その他		その他			その他		その他		
							扶助費	12, 157, 264	扶助費	10, 063, 308	
		計	14, 862, 000	計	14, 498, 097		計	13, 291, 534	計	10, 752, 348	
	_ →	収入		収入							
	自主 事業	支出		支出							
		自主事業損益	0	自主事業損益	0						
	損益		582, 000		1, 137, 575	差引		-4, 173, 586		-3, 204, 867	
		人件費比	率【人件費(賃金	等)/平成30	年度指定管理者事	業支	出】(支出に占	ちめる人件費の割	合)	68.0%	
	本	性経費が、計	画額と実績額で	異なる理由	_						

5 管理運営全般 ※ すべて 🗸 で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

1 施設管理運営に必要な人員が、適正で	で有効に配置されているか								
	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか								
	(1)、 統括マネージャー 1人(1) 常勤1人・非常勤1人(2)、 世話人 非常勤3人(3)、宿直 非常勤3人(1)	✓							
2 専門性を備えた職員、有資格者が必要	要に応じて配置されているか								
3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な	s労働条件を確保しているか								
管理 4 職員の資質・能力向上を図り、施設を運 営 平等利用 1 特定の団体や個人に偏らない、公平を全 平等利用	E適切に運営するための取組みや研修がなされたか								
理 1 特定の団体や個人に偏らない、公平・	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか								
全 十等利用 2 使用許可、減免等の事務手続きが適切	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか								
1 施設の管理運営に係る収支の内容や、	指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<u> </u>							
2 収支内容等を記載した帳簿を整備して	こいるか								
施設・備品 1 必要とされている保守、点検、清掃、	保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	<u> </u>							
の維持管理 2 備品は Ⅰ 種、 Ⅱ 種を明確にし、それる	ごれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか								
セルフモニ 1 日常的、定期的に業務の点検、監視が	「行われたか	7							
タリング等 2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、	施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか								

6 危機管理体制 ※ すべて ✓ で、「3」。1ヵ所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、 評価理由欄に理由を記載してください。

No.	27
-----	-----------

	区分	確認内容						
		1 危機管理マニュアルなどが整備されているか						
危	安全対策	e対策 2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか						
機		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか						
管理	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか		< >	3				
体制	防犯、防	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		0				
ti di	災対策	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか	<u> </u>					
	緊急時対 1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか		< >					
	応、体制	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか						

7 地域連携

	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内尾 運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか		評価
地	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	
域連携		地元地域からの職員の雇用については、応募が無く、出来なかった。	3

【総合評価】

	評価項目		評価	得点	総合評価					
	指定管理者の健全	≥性	3	6	合計得点	指定管理者の健全性				
	施設の有効活用		3	6	口机场点	地域連	携 施設の有 効活用			
合	利用者評価		4	16			2			
評価	事業収支		3	6		危機管理 /	利用者評			
	管理運営全般		4	16	68	体制	価			
	危機管理体制		3	12			管理運営事業収支			
	地域連携		3	6			全般 基準値			
	評価理由	応にあたった 態が好転しる 希望が示され	共同生活援助については、利用者の行動障害に対応すべく職員を強度行動障害研修に派遣し、研修内容を他の職員と共存 なにあたった。その成果と思われるが、パニック等が減少しており、利用者の生活は穏やかになってきている。施設利用者 態が好転してきていることから、5 管理運営全般を「4」とした。また、利用者から「これからも長く三津和園に居たい 希望が示されており、苦情・クレーム等もなかったことから、3 利用者評価を「4」とした。短期入所については平成30 ら制度の変更があり、施設立地面の要因もあり、利用が減少している。							
		前年度からの課題			改善	表状況	改善案等(改善されていない場合)			
	祖み・改善案等 施設所管課)		の選択肢を広げて 事業送迎サービス	–	用に向けて調整し		・生活介護事業所の送迎については人数が集まらないと不可となるため、調整が難しい。			
	年度の目標・ 取組み等 施設所管課)	体制の整備を	を進めてもらいた	こい。		アップ及び理解を決	深め、利用者がより穏やかに生活できるよう、支援 じてほしい。			

【指定管理者自己評価】 No. 27

			.評	

- (1) 今年度の取組みに対する評価
- ① サービス向上に向けての取組み
- ・ 利用者にとってより良い住環境であるために、モニタリングを定期、不定期に行いニーズに沿った支援を行うよう努めた。
- ・ 余暇活動として近隣の温泉施設へ行ったり、買物、外食等を継続的に行った。
- ② 業務の効率化に対する取組み
- ・ 緊急時に他の事業所職員も対応できるように、兼務人数を増やしている。
- ・ミーティング等でオペレーションの見直しを随時行っている。
- ③ その他

- (2) 指定管理者業務実施上の課題
- ・ 日中活動が出来ず、在所となっている利用者の支援
- ・職員の高齢化。
- (3) 総合評価 評価基準 (計画=事業計画)
 - 【A】計画や目標を大きく上回る 【D】計画や目標を下回る
- 【B】計画や目標を上回る 【E】計画や目標を大きく下回る

【C】計画や目標どおり

指定管理者 自己総合評価 C

① 評価理由

概ね管理全般・事業収支含め、目標通りできているが、課題の高齢職員の入れ替えができていないこと及び短期入所の利用が減っていることについて は。対策が必要である。

- ② 次年度以降の取組み
- 1. 職員研修を充実させていく
- 2. 短期入所利用への取り組み (PR、送迎対応等)